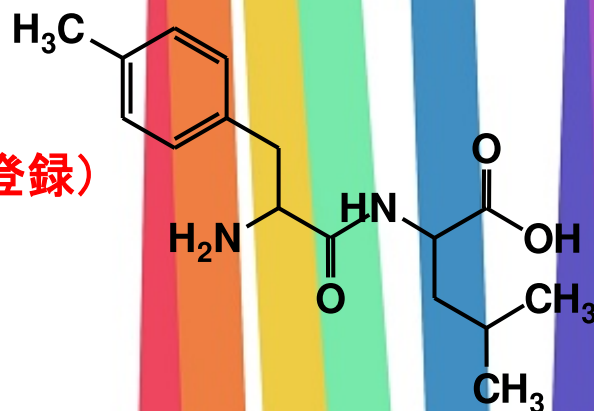


千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議
平成30年度 総会・事例報告会

食品機能性ペプチドの 先端技術と応用

参加費
無料

定員:100名(要事前参加登録)



2018. 6. 7 (木)

(12:30開場)

総 会 13:00~13:30

事例報告会 13:30~16:30

ホテルグリーンタワー幕張
4階「ロイヤルクレッセント」
(千葉市美浜区ひび野2-10-3)

www.greentower.co.jp



申込方法

かずさDNA研究所ホームページよりお申込みください

事務局

(公財) かずさDNA研究所
企画管理部事業推進課

TEL.0438-52-3957/ FAX.0438-52-3901

申し込みURL: WWW.kazusa.or.jp/bio-network/

千葉県・公益財団法人かずさDNA研究所 共催

食品機能性ペプチドの先端技術と応用

食品の機能性による健康維持や疾病予防に関心が高まっています。こうした機能性を有する成分や素材は、現在、多くの食品に活用されており、国の制度による後押しもあって、我々の食生活に浸透してきています。タンパク質は最も重要な栄養素の一つであるとともに、その酵素分解物から得られるペプチドは種々の生理作用を有することが解明され、サプリメントなど多くの食品（健康食品や機能性食品）に利用されています。一例を挙げると、血圧降下作用を示すペプチド素材が特定保健用食品（トクホ）に利用されています。また、機能性を表示することができる食品に関する制度として、国の規格基準に適合した栄養機能食品、国が個別に許可するトクホに次いで、科学的根拠に基づいた機能性が事業者の責任において表示される「機能性表示食品」が平成27年4月から施行されました。今後、医療費の抑制、高齢社会における健康的な生活維持の観点から、ますます新しい機能性ペプチドの発見とその食品開発への応用が期待されています。本会議では、ペプチドの配列検出技術、新規機能性ペプチドの探索及び食品開発への応用など、かずさDNA研究所、その共同研究先である京都大学及び森永乳業株式会社の取り組みについて、各分野（産学官）の立場から、報告します。

プログラム

（敬称略）

【開場】 12:30

【総会】 13:00～13:30

(1)主催者挨拶

(2)報告 ①平成29年度事業報告・平成30年度事業方針
②その他

【事例報告会】 13:30～15:50

13:30～14:10 「網羅的ペプチドの解析に関する研究開発」
(公財)かずさDNA研究所 ゲノム事業推進部 生体分子解析グループ
グループ長 鈴木 秀幸

14:10～14:50 「新規機能性ペプチドの探索と腸－脳連関」
京都大学大学院農学研究科 食品生物科学専攻食品生理機能学分野
准教授 大日向 耕作

14:50～15:10 休憩

15:10～15:50 「森永乳業における乳ペプチド開発」
森永乳業株式会社 研究本部 素材応用研究所
バイオプロセス開発グループ
グループ長 越智 浩

15:50～16:30 情報交換会

